

みんなで支える地域の絆

— 地域コミュニティ強化 —

両河内はこんなところ

美しい里山の自然と素朴な人情
自慢は清流興津川の鮎と
たけのこ、お茶、わさび



しかし、課題も...

- 少子化、高齢化、過疎化による小学校の少人数化、地元消防団の弱体化、医療を中心とした老人の生活不安
- 地域コミュニティ弱体化による共同作業・災害時の共助意識の低下



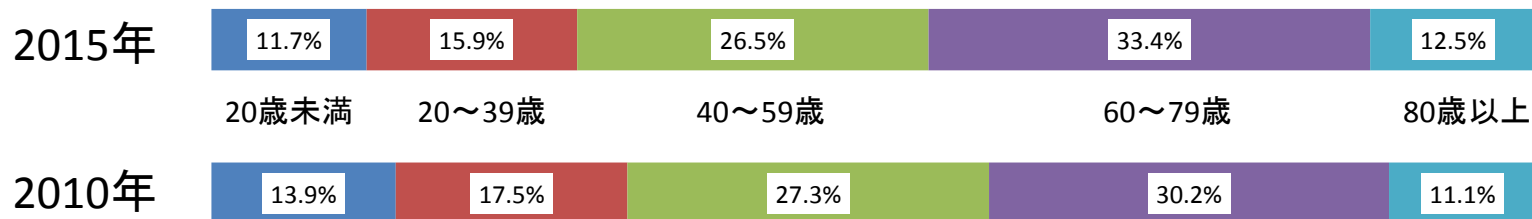
踊り子は10人足らずだが、数十年も続いている茂野島地区の盆踊り

活動の流れ

- ① 両河内の課題再確認
- ② テーマ設定
- ③ インタビュー1（自治会を抜けた人、地域とつながりが少ない人）
- ④ インタビュー2（独り暮らしでがんばっている高齢者）
- ⑤ 再確認（インタビューからわかったこと）
- ⑥ 各種団体調査（全団体数、役員数、男女比、活動）
- ⑦ 団体長と面談
- ⑧ 両河内の将来像を描く（実現に向けた進め方）

両河内の課題再確認

少子高齢化は5年間で**加速**している



	2010年	2015年	備考
世帯数	1,273	1,302	うち約200世帯は特養、障害者施設入居者
15歳未満人口	331	247	地区内3小学校で最少は全校で13名
15~65歳人口	2,112	1,790	
65歳以上人口	1,140	1,189	
総人口	3,583	3,226	
高齢化率	32%	37%	

実現に向けた進め方

時期：当面

「声かけ見まもり運動」を始める

- 両河内にはどんな団体・企業があり、どんな活動をしているのかを知る。
- 声かけ見まもりが地域力強化に必要なことをみんなに語り掛ける。



2016年11月10日、両河内連合自治会の役員の皆さんに私たちの調べたことと提案を発表する機会を頂いた。

実現に向けた進め方

時期：近い将来3年後

他の諸問題を話し合う場を作る

- 各団体が独自で行っている行事、イベントの整理
- 両河内に最適な公共交通
- 見まもり、買い物・通院支援
- 移住促進
- 両河内ににぎわいを
- 両河内共有財産の有効利用
- 小学校の少人数化対策
- 両河内の社会インフラ、インター誘致運動
- 放置竹林対応とバイオマス利用による村おこし
- 地域防災システムの強化と、村を挙げての防災運動の実施



実現に向けた進め方

時期：将来的5年後

組織づくりと実施

- 地域として一体感を持ち、各問題ごとの組織をつくり、順次実施していく



2016年、希少品種のそばづくりと収穫。まず、できることから始めてみた。

カレッジでの活動をふり返ってみて

テーマの変遷

地域力の弱体化→声かけ・見まもり運動→各種団体→総合連絡会議

目の前の山に登ると→次の山が見えてくる

これが運動の本質？

総合連絡会議の向こうにきっと次の山がある

村のためにもう一息がんばろう

貴重な体験をさせてくれたカレッジに感謝！